

MORY

令和6年3月期 決算説明資料

令和6年5月13日

モリ工業株式会社



MORY INDUSTRIES, INC.

証券コード：5464

目次

1. 令和6年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	13
3. 令和7年3月期 連結業績予想	21
4. 株主還元	27
5. その他参考資料	29

令和6年3月期 連結決算概要

売上高

478億円

(前年度比 △ 1.7%)

営業利益

58億円

(前年度比 △12.4%)

経常利益

63億円

(前年度比 △10.9%)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

45億円

(前年度比 △14.6%)



令和6年3月期 連結決算概要

売上高
営業利益率

12.3%

(前年度比 $\triangle 1.5\%$)

自己資本利益率
【ROE】

8.6%

(前年度比 $\triangle 2.3\%$)

自己資本比率

77.6%

(前年度比 $+0.5\%$)

株価純資産倍率
【PBR】

0.91倍

(前年同期は0.53倍)

令和6年3月期 決算のポイント



販売数量の減少、販売価格の下げ止まり

- ・本年度も本格的な実需の回復までには至らず、荷動きは低調な状態が続いた。
- ・材料価格は下落傾向。材料価格が低下する中で販売価格の高値維持。



株価の上昇

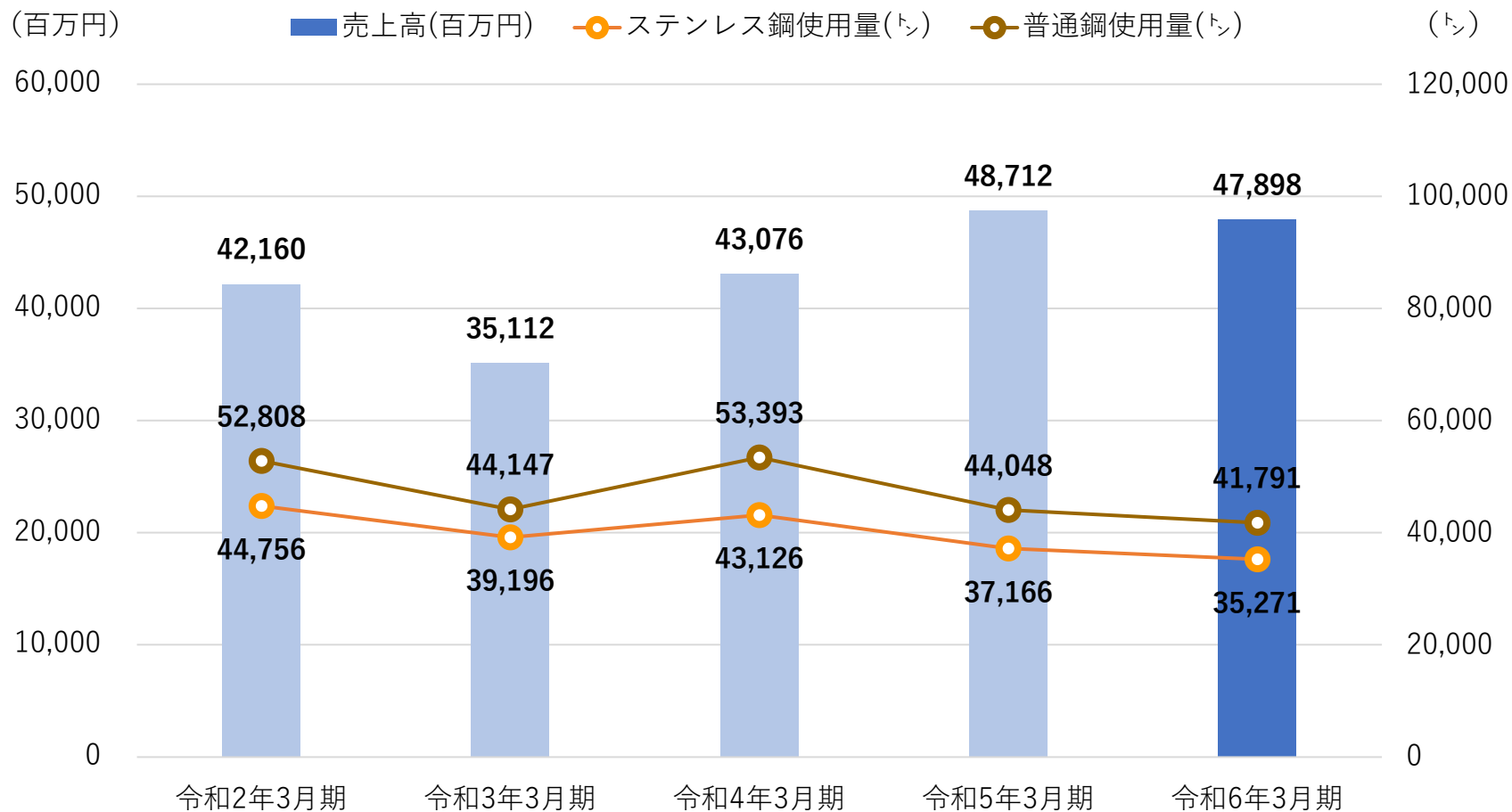
- ・資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組みを強化。
- ・外部環境にも恵まれ、株価は上昇。PBRも改善傾向。



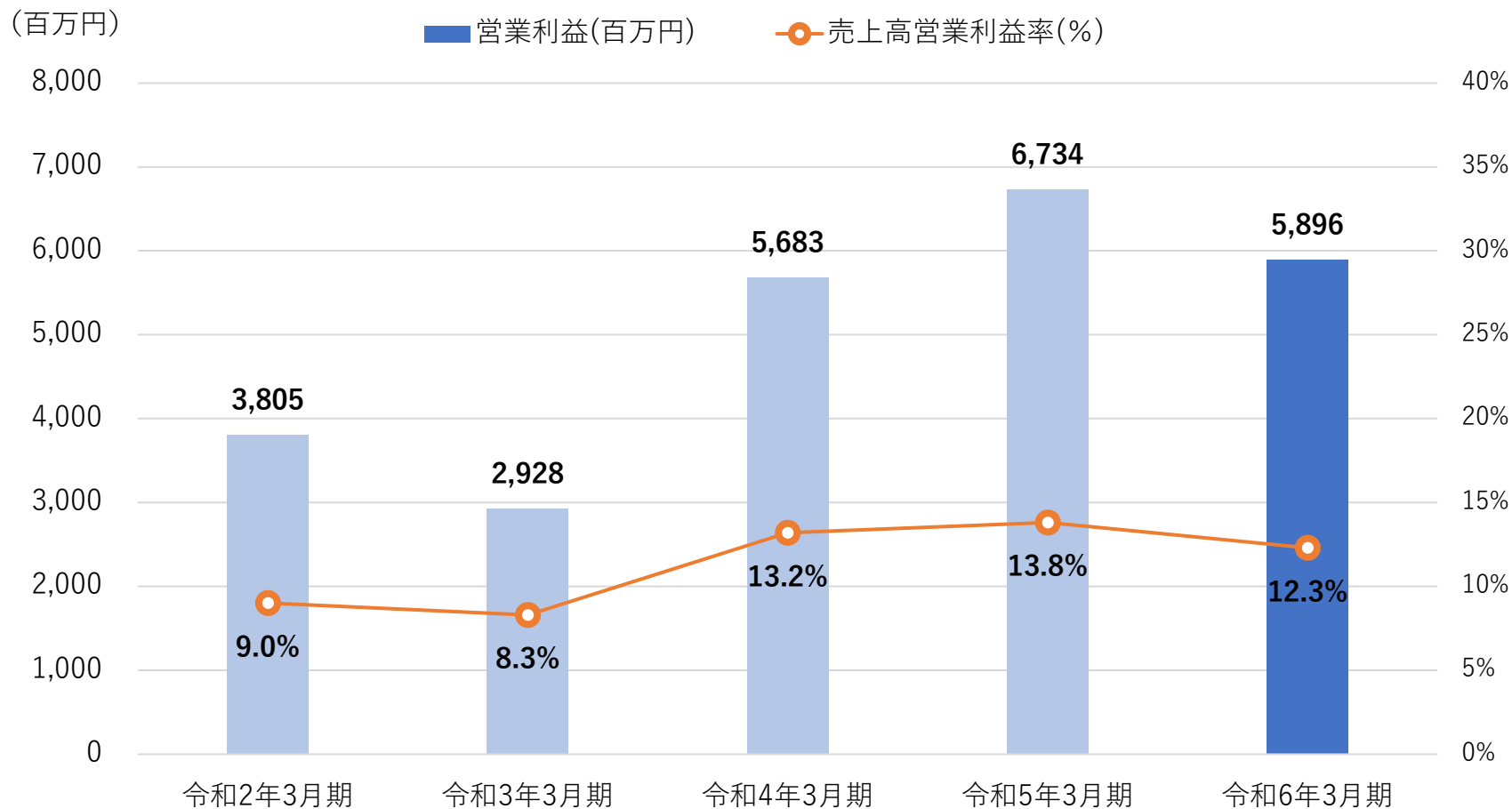
期末配当の増配

- ・配当政策を変更し、連結配当性向を40%程度に強化したことにともない、期末配当については当初予想の1株当たり90円から150円に増配。

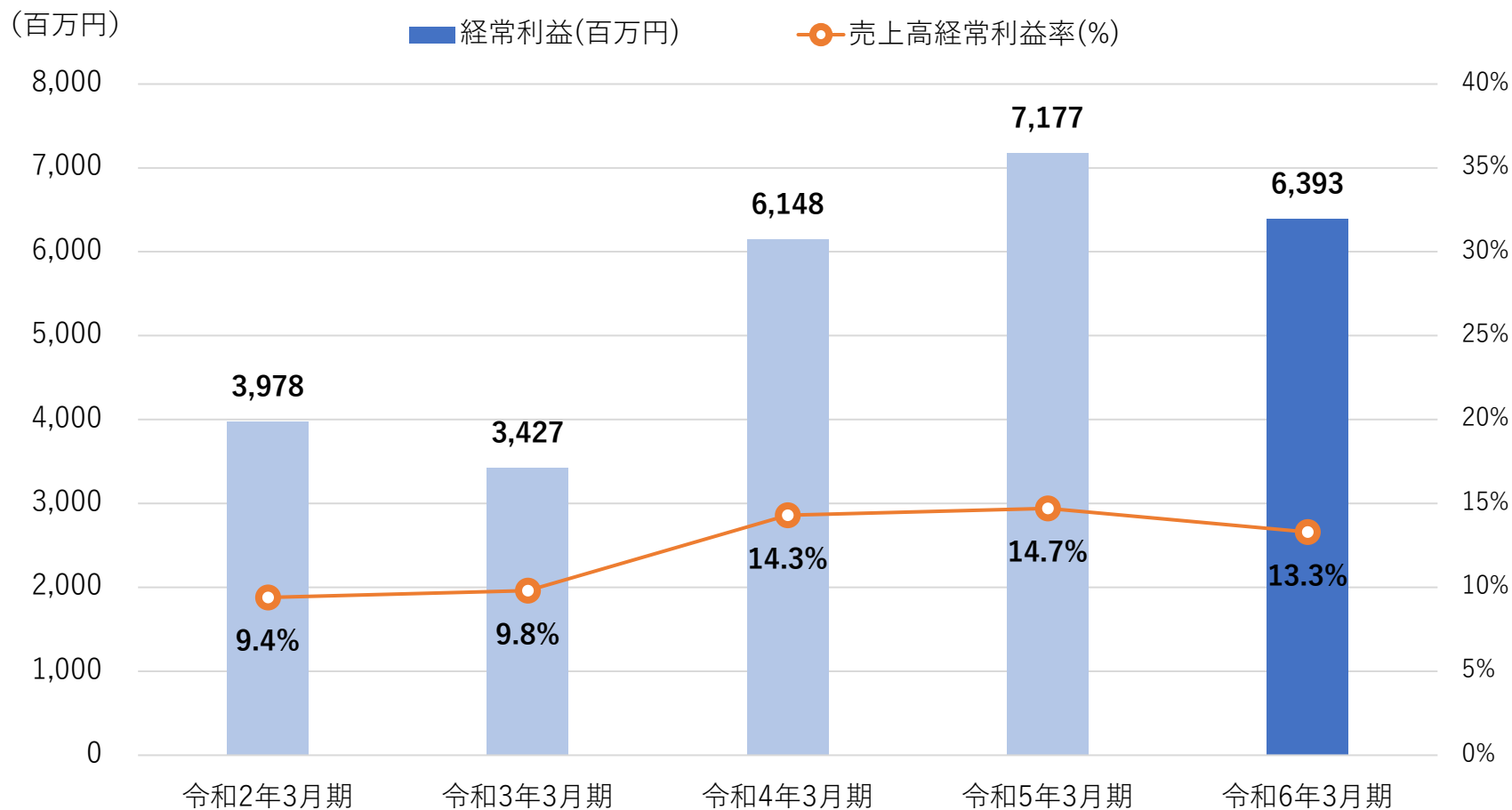
連結売上高の推移



営業利益の推移

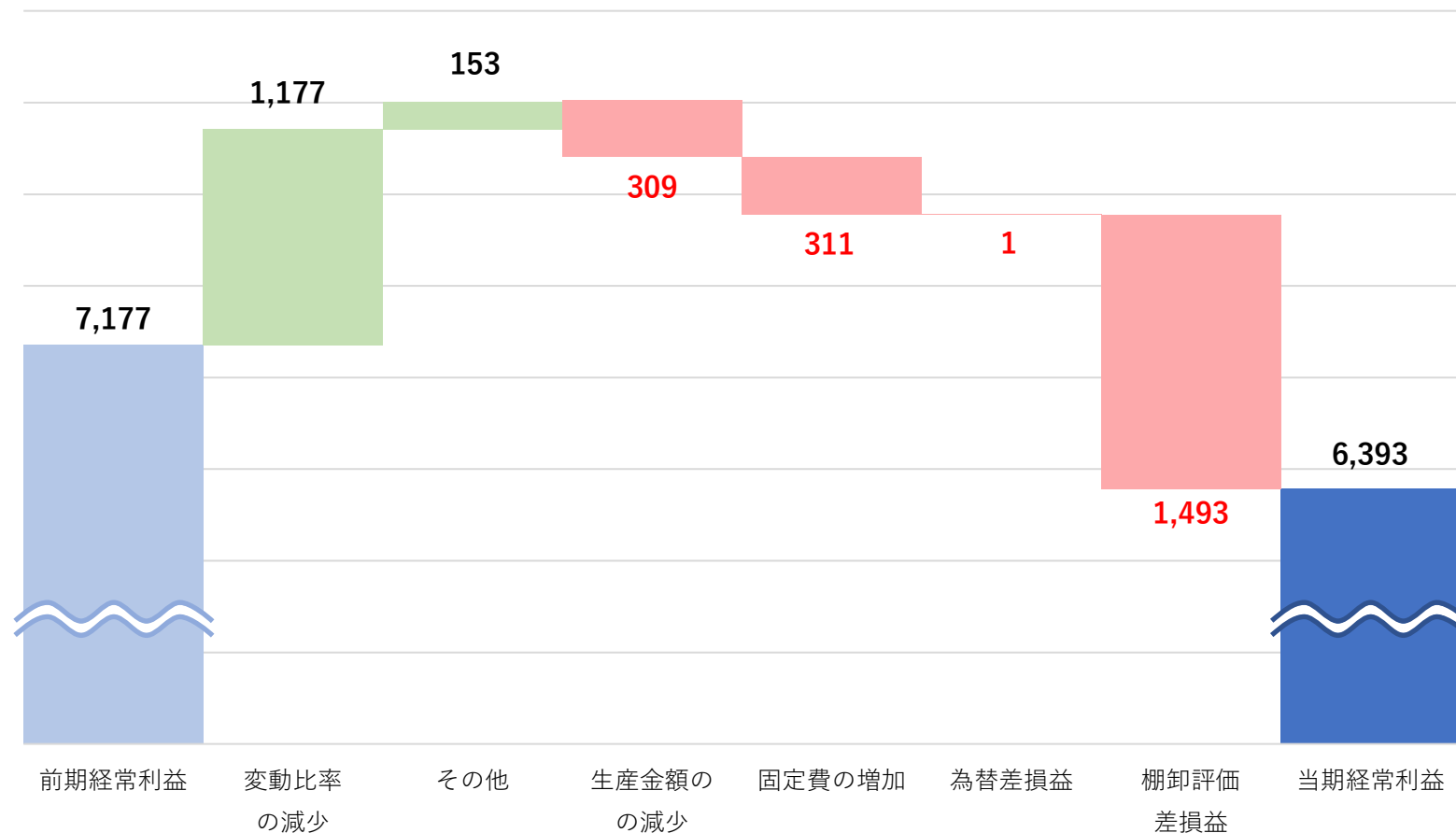


経常利益の推移



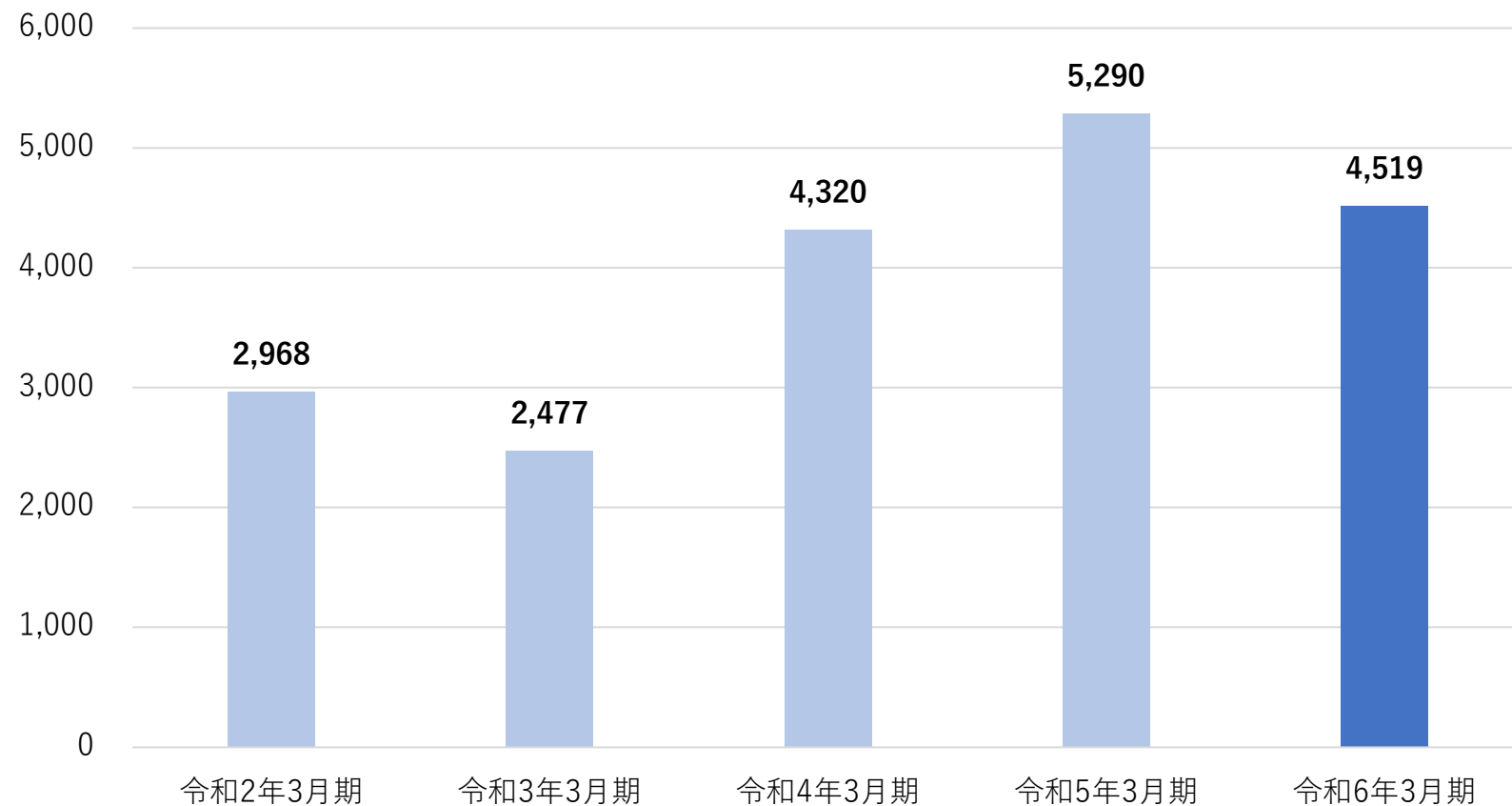
当期の経常利益増減要因（前期対比）

（単位：百万円）

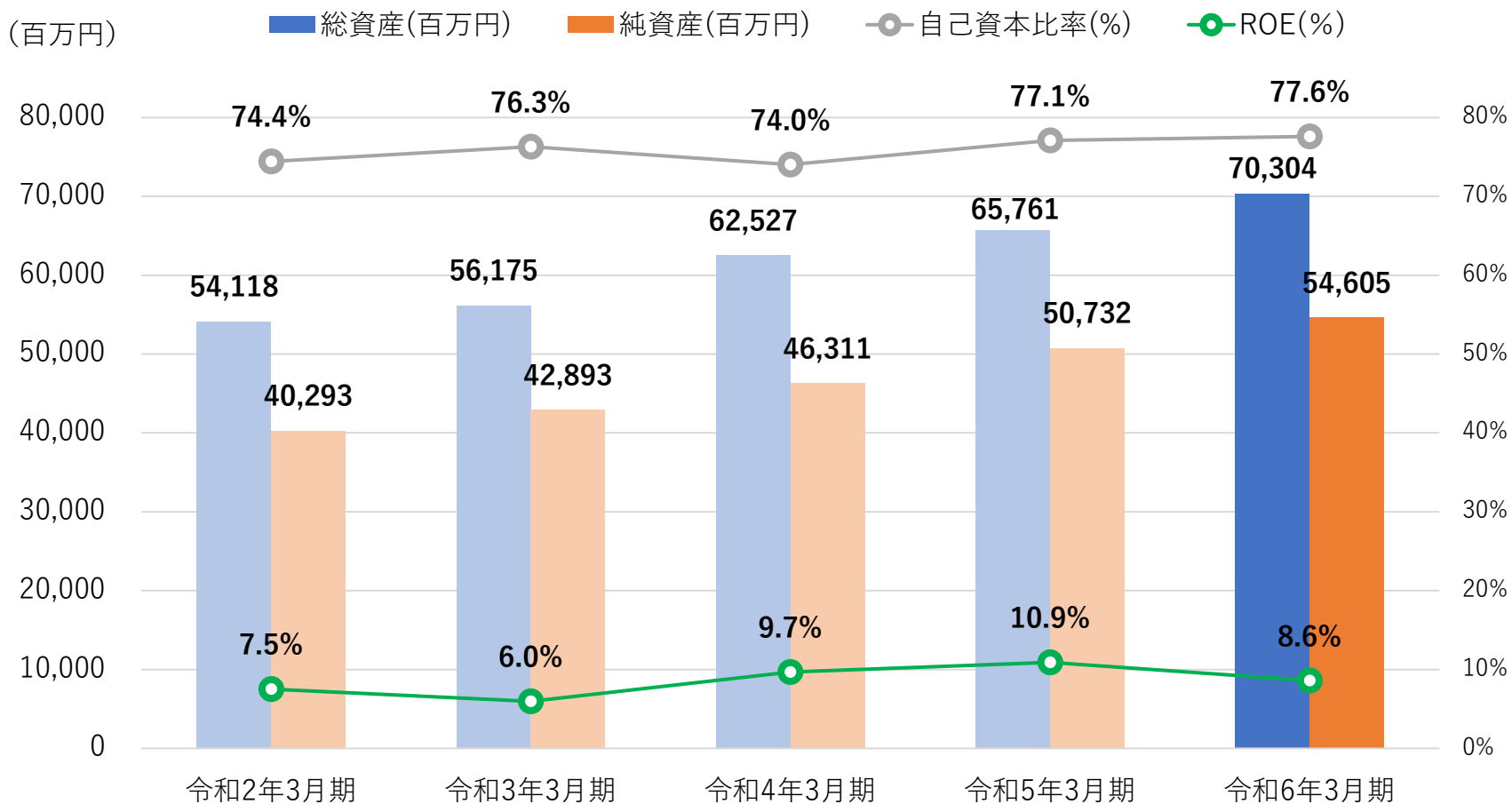


親会社株主に帰属する純利益の推移

(百万円)



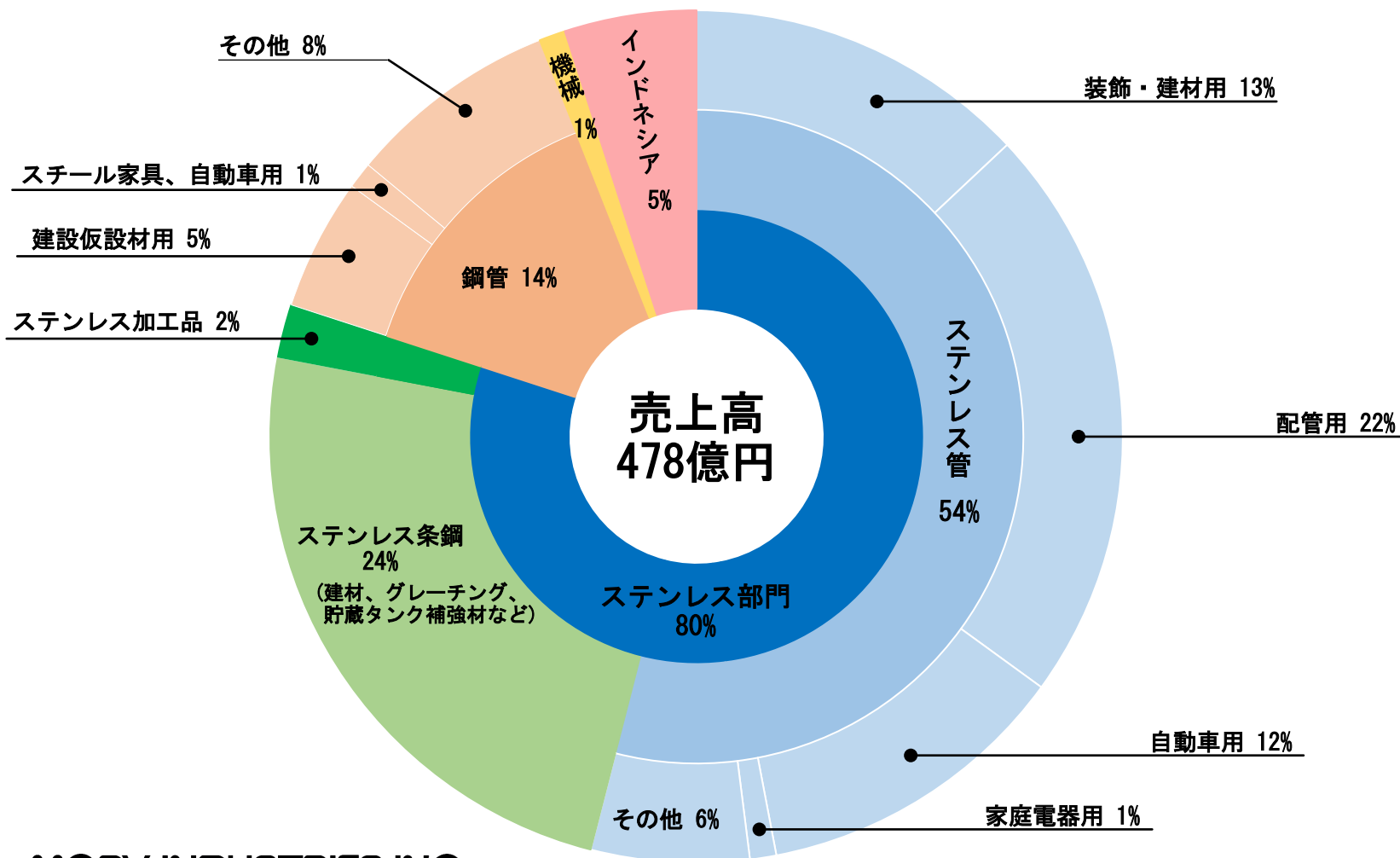
総資産、純資産、自己資本比率、ROE



目次

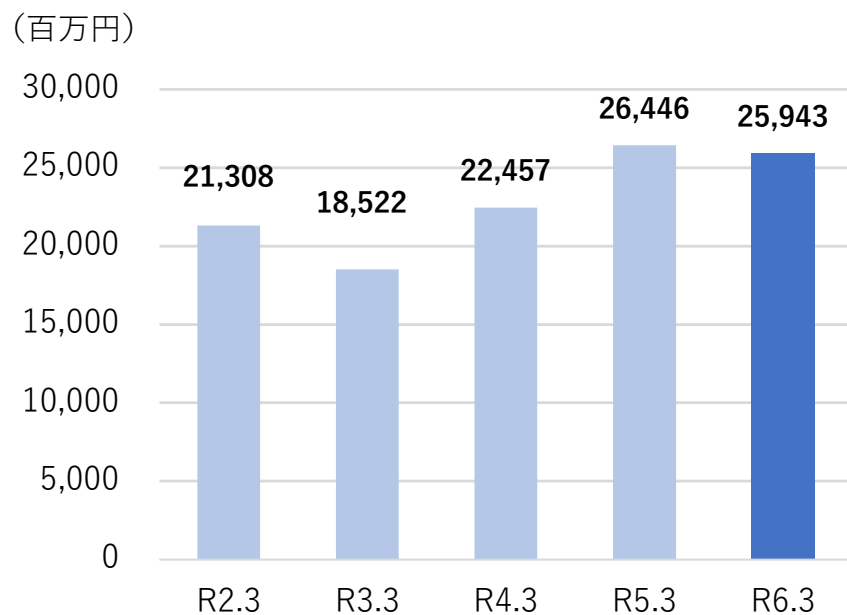
1. 令和6年3月期 連結決算概要	3
<u>2. セグメント・製品部門別の売上高</u>	<u>13</u>
3. 令和7年3月期 連結業績予想	21
4. 株主還元	27
5. その他参考資料	29

令和6年3月期 連結売上構成比率



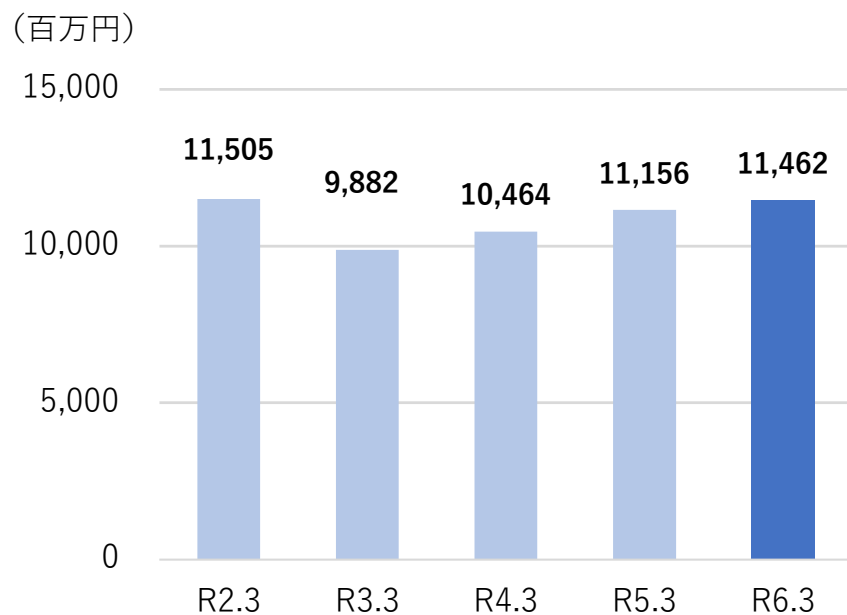
製品部門売上高（ステンレス管）

- 自動車用は数量が増加
- 配管用は数量が減少



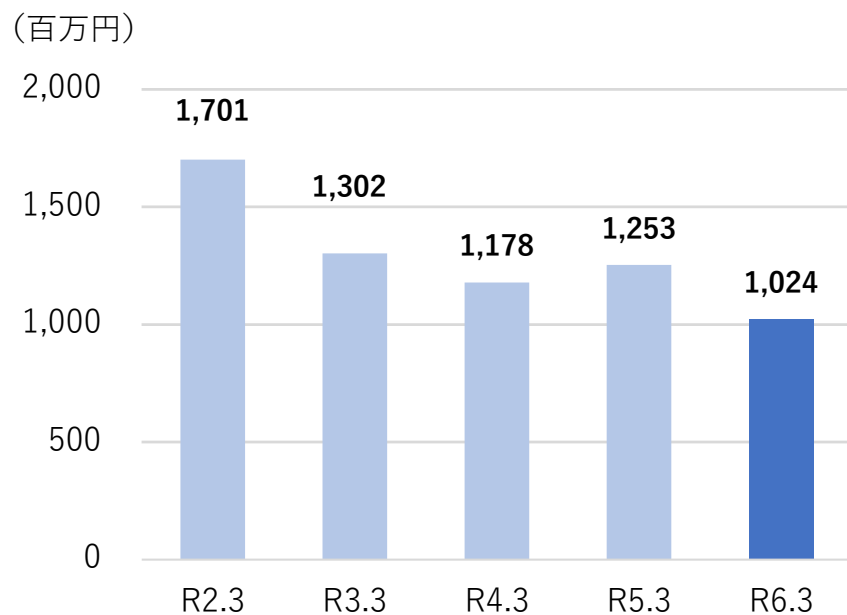
製品部門売上高（ステンレス条鋼）

- 数量、製品価格ともに上昇



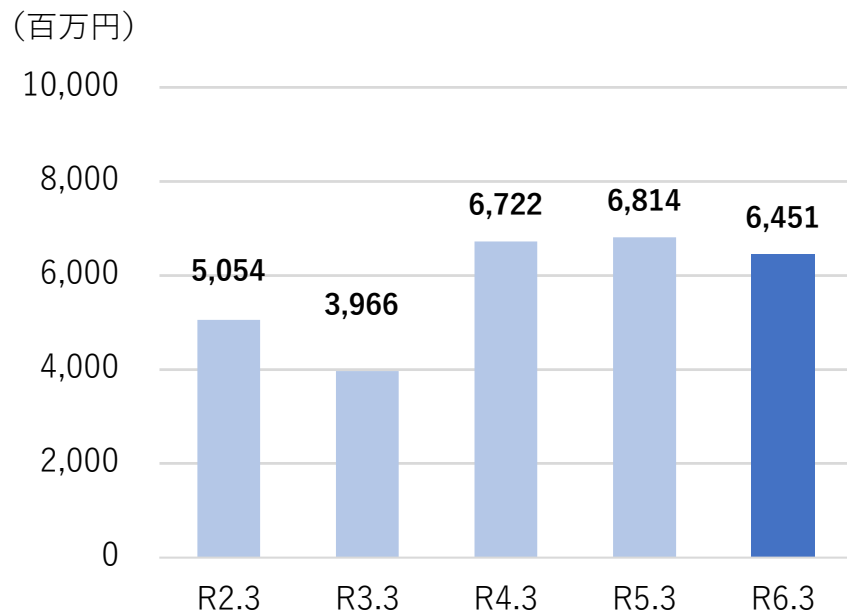
製品部門売上高（ステンレス加工品）

- 給湯器用フレキ管の売上が減少



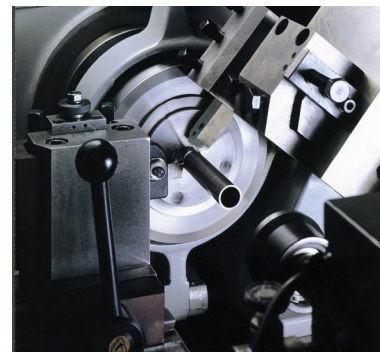
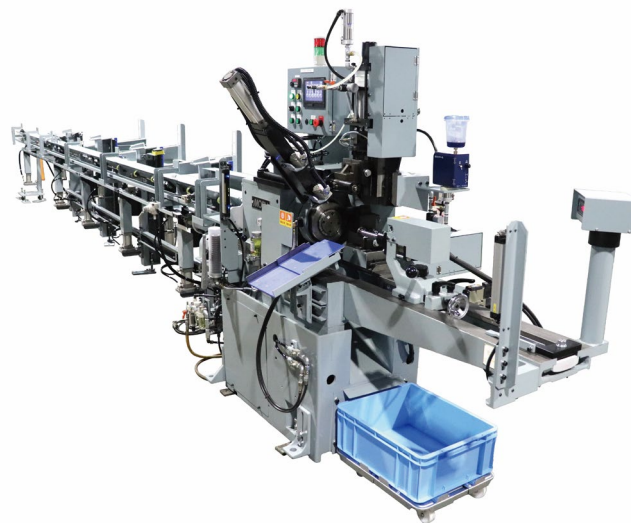
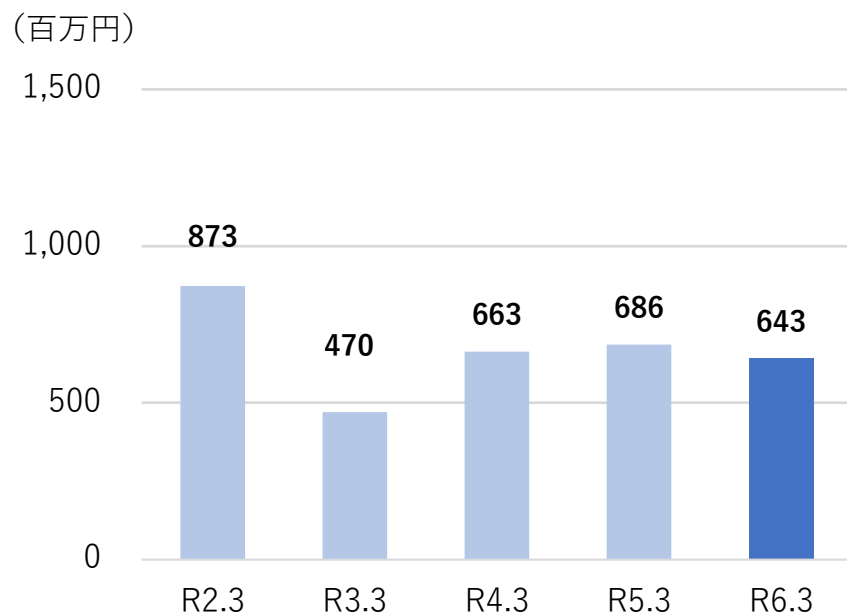
製品部門売上高（鋼管）

- 建設仮設材用は数量減少



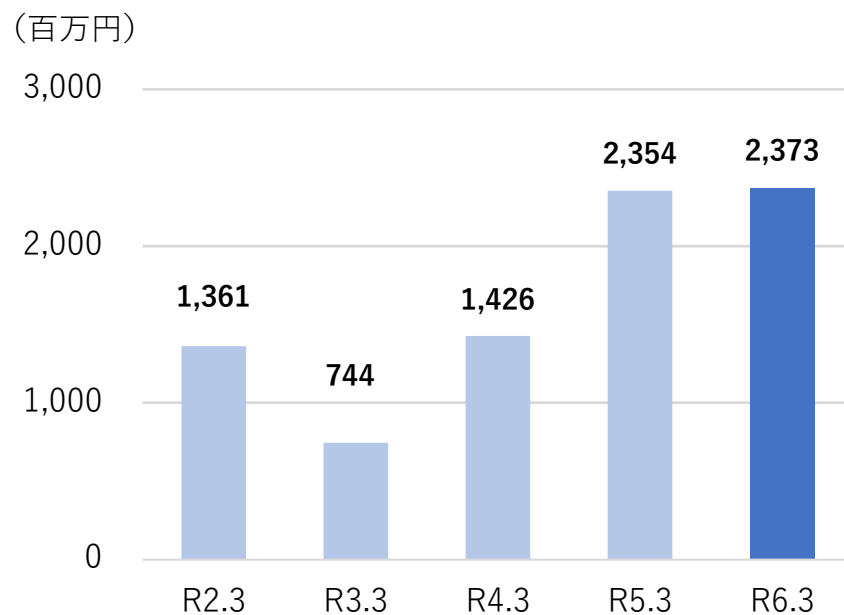
製品部門売上高（機械）

- 販売台数の伸び悩み



インドネシア

- 下期に二輪・四輪車向けともに販売数量減少
- 販売単価の上昇、円安効果



目次

1. 令和6年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	13
3. 令和7年3月期 連結業績予想	21
4. 株主還元	27
5. その他参考資料	29

令和7年3月期 連結業績予想

売上高

450億円

(前年度比 Δ 6.1%)

営業利益

47億円

(前年度比 Δ 20.3%)

経常利益

50億円

(前年度比 Δ 21.8%)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

35億円

(前年度比 Δ 22.6%)



令和7年3月期 業績予想のポイント



環境

- ・海外では、インフレ率の高まりによる金融引き締め継続、中国の景気低迷などによる世界的な景気後退、ウクライナ情勢・中東情勢の緊迫化。
- ・国内では、円安によるインバウンド需要の拡大。賃金の増加が物価高に追いつかず、個人消費の落ち込みが予想される。



売上

- ・世界的な景気後退懸念の中、足元では本格的な実需には至っておらず、販売数量は、前年よりも若干減少すると予想。
- ・材料価格の急激な増減はないと見ており、販売価格は前年と同程度で推移すると予想。



利益

- ・運送や副資材等のコストアップなどを総合的に勘案し、減益を予想。

令和7年3月期 重点取組テーマ



配管の販売力強化

- ・ 主要製品である配管の在庫充実による納期対応力のアップと、取引先との関係強化による拡販を図る。



設備のリニューアル

- ・ 既存生産設備の改修・改善、最新鋭の設備導入による能力最大化・安定操業確保を図る。



技術のチャレンジ

- ・ 環境規制や高度情報化社会など、新しい課題の解決に貢献する技術の向上に取り組む。

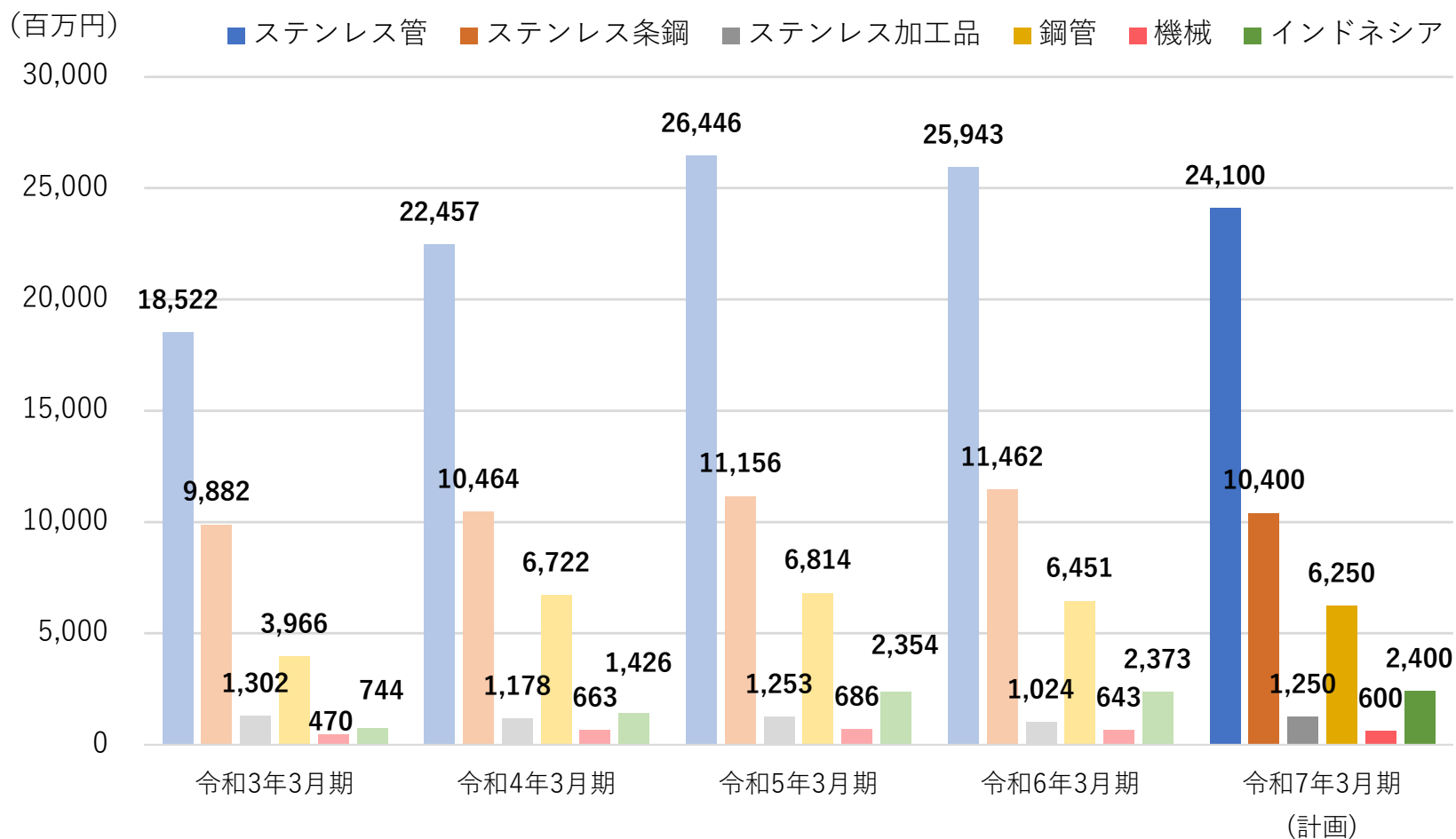


営業・経理・人事のIT化推進

- ・ Webを活用した営業ツールの更なる進化。
- ・ 会計・人事システムの刷新。

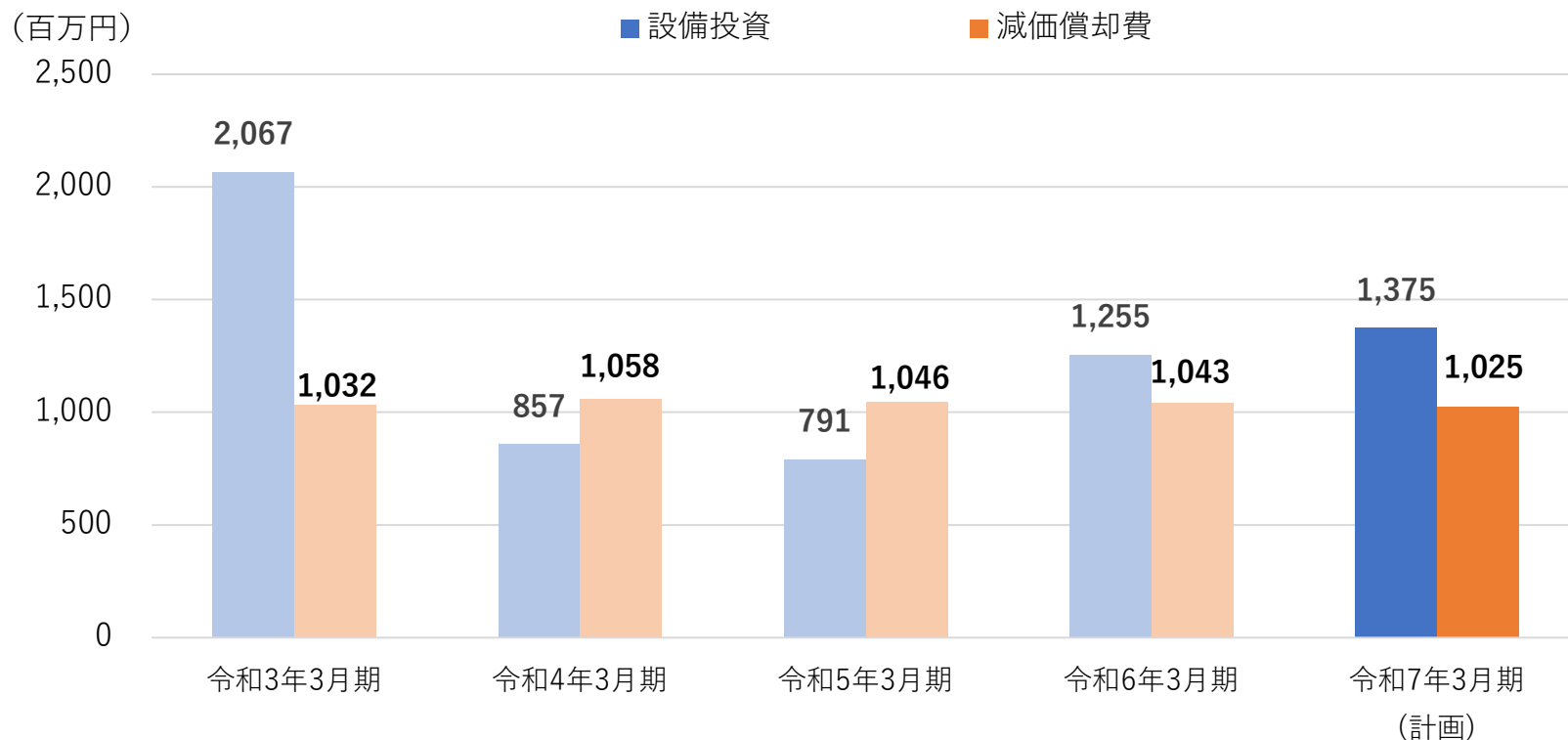


セグメント別売上実績と計画



設備投資・減価償却費の実績と計画

- 令和7年3月期の設備投資の主なものは、ステンレス熱延条鋼製造設備の更新、また産業用地取得費用（一部）も見込んでいる。一部、部品の入手の遅延が予想され、前倒し手配のため計画が増額となっている。



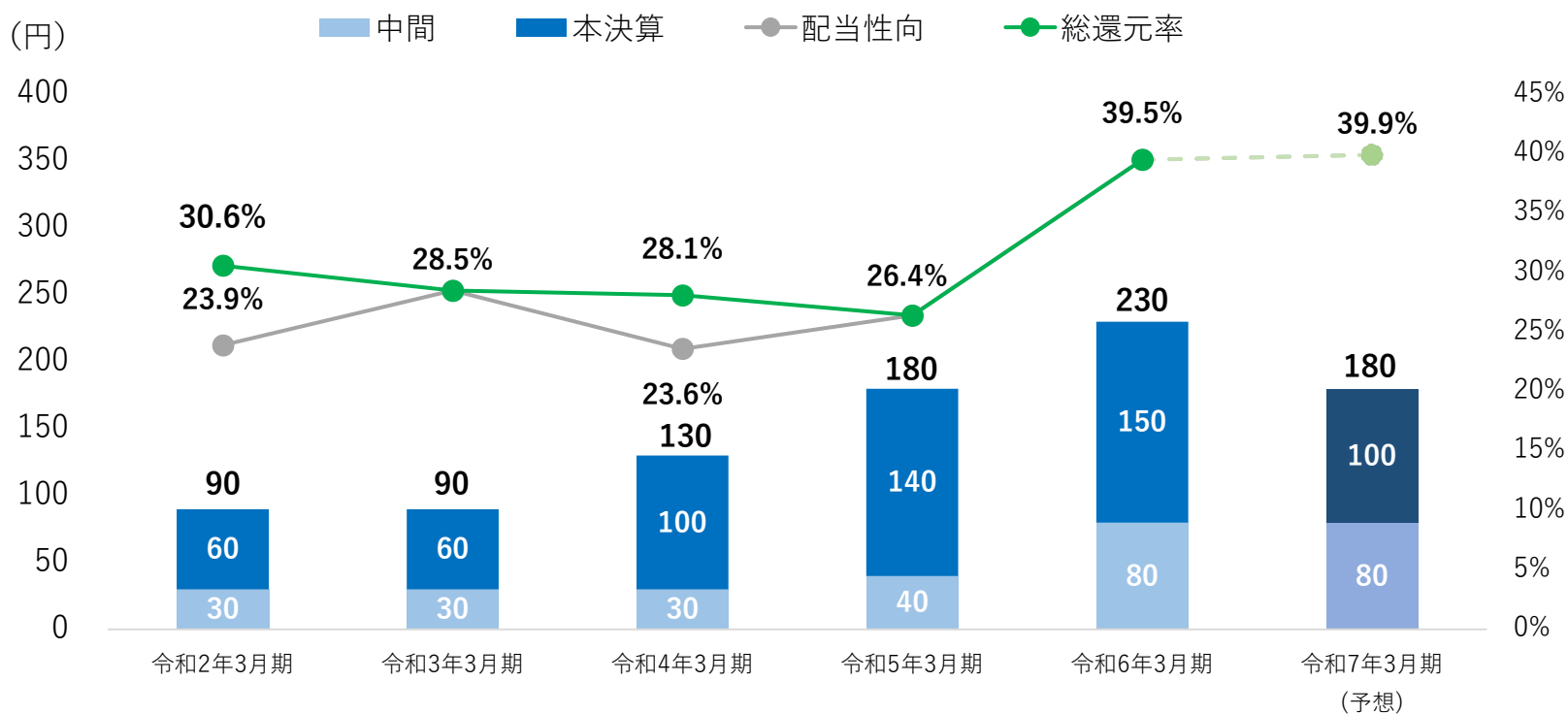
※有形固定資産のみの金額を記載

目次

1. 令和6年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	13
3. 令和7年3月期 連結業績予想	21
<u>4. 株主還元</u>	<u>27</u>
5. その他参考資料	29

株主還元実績と予想

- 株主還元については、令和6年3月期より配当政策を変更し、連結配当性向を40%程度に強化。

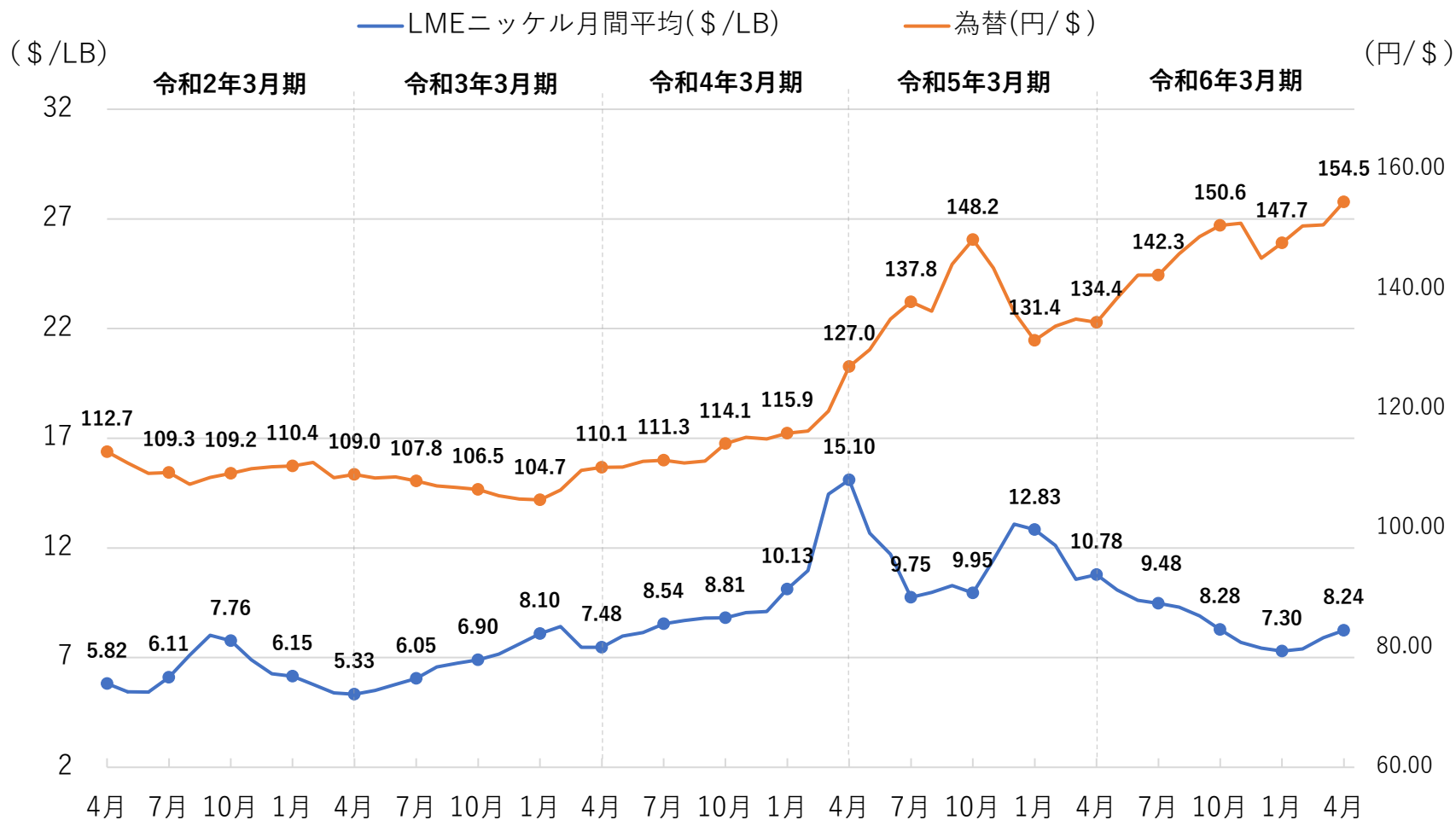


※令和3年3月期、令和5年3月期、令和6年3月期は自社株買いなし

目次

1. 令和5年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	13
3. 令和6年3月期 連結業績予想	21
4. 株主還元	27
<u>5. その他参考資料</u>	<u>29</u>

LMEニッケル価格、為替の推移



MORY

今後とも一層のご理解とご支援を
賜りますようお願い申し上げます

モリ工業株式会社

本資料は投資家の参考に資するため、モリ工業株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、本資料作成時点で予測可能な情報に基づく当社の経営陣の判断に基づいております。したがって、これらの将来に関する記述には、様々なリスクや不確実性があります。よって、その完全性を保証するものではなく、様々な要因の変化で実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。